

かわもと

縁にこたます音楽の里

3

2002

平成14年

March No.371

<http://www.kawamoto-town.jp/>

特集 23

社会福祉法人 川本保育所

四月から

「一時保育」スタート



川本保育所 4、5歳児

在宅の親と子
サポート

つき、月十日まで利用で
きます。

緊急に、あるいは週に数回、安心して子どもを預ける場があればー。母親たちの要望にこたえ、社会福祉法人川本保育所（中島こづ恵所長・六十五人）はこの四月から、在宅児を対象にした「一時保育」事業に乗り出します。核家族化や地域のつながりの希薄化など子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、地域の「子育て支援の拠点」として注目される保育所の取り組みを特集します。

一時保育は就学前までの在宅児を対象に、仕事の都合や介護、出産など

保育料は、利用時間にかかるらず一日二千円です。

二月末現在、三歳未満

はもちろん、生涯学習やボランティア活動、冠婚葬祭などの際に、柔軟に対応するものです。

開設は、平日の午前八時半から午後四時まで。登録制で、児童一人に



特集 23 川本保育所で「一時保育」

児を中心に六世帯が登録。母親たちは「子どもは大勢の中で遊べるし、安心して預けることができて大助かり」と期待を寄せていました。

気軽に 利用を呼びかけ

町内の三保育所（川本・因原・川本北）では四年前から、

保護者同伴の施設開放を行い、少子化の中で希薄になつた子どもや親同士の連帯を促してきました。

「参観日など学校行事へ出かけるとき、気兼ねなく在宅児を保育してもらう場があれば」「急な用事のとき、在宅児を預ける場が無く不安」。施設を利用する母親たちの声を聞くと、短期間、気軽に子どもを預ける場を望む声が多くありました。

三保育所ではニーズの高まりを受けて、弹力的な施設運営を検討。市街地に位置し、

「地域子育て支援センター」を併設している川本保育所

で、対応することにしました。

同所では「本格的な一時保

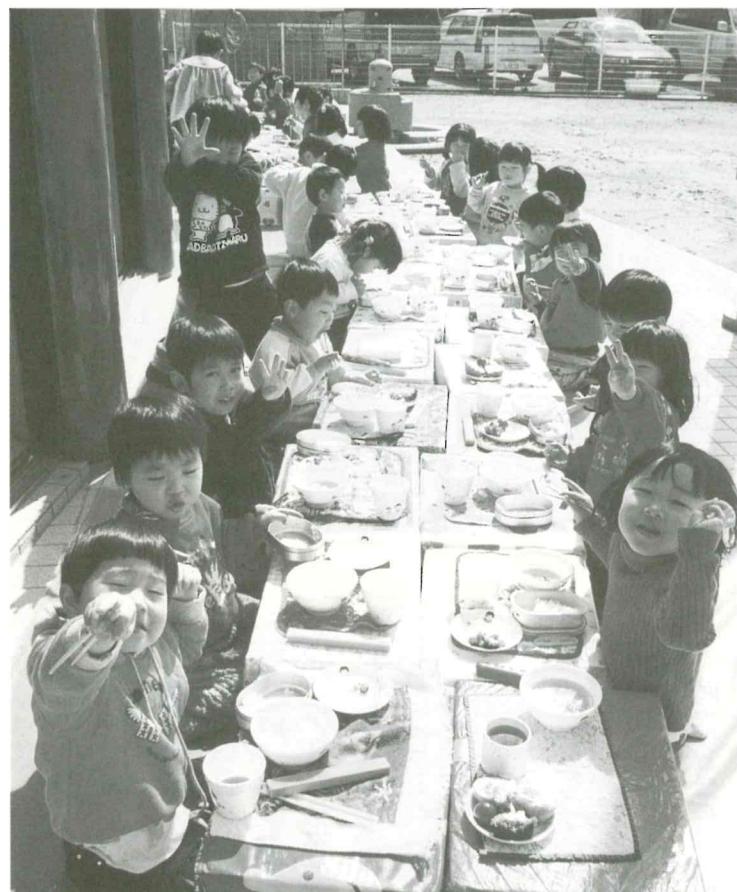
育は初めての試み。実施にあたってはお母さんたちと話し合いを重ねて、意義ある取り組みにしていきたい」と話す、

気軽に利用してもらうよう呼びかけています。

核家族化や地域の保育力低

下などに伴い、主に母親にゆだねられている子育ては年々、重くのしかかり、育児不安を招いています。

このため、母親にちょっと手をさしのべ、心のリフレッシュを促す子育て支援の重要な性は、早くから指摘され、国や県も本腰を入れるようになってきています。



一時保育のごあんない

問合せ 川本保育所☎0855-72-0170

次のような場合に利用できます。

- 保護者の就労形態により、家庭での保育が継続的に困難な場合。
- 保護者等の傷病、入院などにより、緊急・一時的に保育を必要とするとき。
- 保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担を解消するとき。

利用方法 原則として登録制。(用紙は川本保育所にあります)

利用の場合は、前日の午前中までにご連絡ください。

※やむを得ない事情の場合は、遠慮なくご相談ください。

対象児童 満1歳から就学前までの健康な在宅児。町外の方も利用できます。

保育期間 児童は1人につき1ヶ月10日以内。※連続して1週間以上の利用はできません。

保育時間 平日の午前8時30分から午後4時まで。(休園日は除く)

保育料 2,000円(利用時間に関わらず1日分が必要です。おやつ代含む) ※お弁当を持参してください。



特集 23 川本保育所で「一時保育」

インタビュー

この四月から川本保育所で、待望の「一時保育」がはじまります。このニーズは從来から、在宅のお母さんたちの間で要望の強かった保育サービスの一つです。一時保育を実施する川本保育所・中島所長に聞きました。

—一時保育の目的な何でしようか。

「多様な就労形態を支援したり、子育てについて近隣での助け合いが希薄になっている中、孤立化する子育て家庭の育児負担を軽減することを目的にしています」

「核家族の中で、母子関係の密室化や、それに伴う育児不安の増大があり、これまでメニューの限られていた在宅保育への支援が必要になつてきました」

—実施にあたっては、どのような工夫をされますか。
「本格的に実施するのは初めてですので、さまざまな課

できるだけ利用者の意見を取り入れながら、柔軟に対応をしていきたいと思います」

ことができるよう、心のケアを通じてお母さんたちとの関係をつくっていきたいのです」

—充実した

取り組み
が期待できそうですね。

「それに

は、信頼関係が一番で

す。子育ての価値観や

悩みはさまざまです。

保育士には、解決に

向けて、一人ひとりの

思いをしつかり受け止

めて話し合

ができる、カウンセリング

の力が問われています。子育

ての主体者である親が、安定

した気持ちで子どもに接する

題が出てくると思います。例

えば、お弁当の持参が原則で

すが、急な場合は用意をする

時間がないかも知れません。

—保育所の役割は、年々増加

していきますね。「そうですね。私たち職員も、保育施設は“地域の子育て拠点”という意識転換が求められています。保育体制の整備に努めているところです

が、社会全体が、子育てへの理解と協力を示すことが必要です」

「川本高校生が授業や部活、放課後の時間を利用して保育所を訪れ、子どもたちと遊ぶ姿を見ると、地域に根ざした保育所”的大切さを痛感します。今まで以上に、地域や関係機関との連携を図りながら、子育て環境の充実に取り組んでいきたいと思います」

—ありがとうございました。



社会福祉法人川本福祉会 川本保育所

所長 中島 こづ恵さん

お茶のお手前や踊り披露

川本北保育所でひな祭り茶会 2/23



ひな祭りの歌にあわせて踊りを披露する園児

子どもたちの健やかな成長を願い、川本北保育所で「ひな祭り交流会」がありました。

昨春から、地域のお年寄りとの交流事業で取り組んでいる茶会のお手前を保護者に見てもらおうと、初めて茶席も用意。ひな壇が飾られた遊戯室に四、五歳児の保護者を招き、正座やおじぎの仕方、抹茶の飲み方など一連の作法を披露しました。お内裏様やおひな様に扮した園児全員の踊りもあり、楽しいひとときを過ごしました。



保育士や四、五歳児の保護者と
写真に納まる園児

伝統芸能で祝う 姉妹縁組十五周年

坂町・川本町 2/23

広島県坂町と川本町の姉妹縁組十五周年を祝う式典が、坂町の町民センターでされました。

式には両町の関係者約百八十人が出席。町老人クラブや女性学級など交流事業に功績があつた団体に、両町長から感謝状が贈られました。舞台では坂和太鼓と江川太鼓の共演や因原子供神樂団の伝統芸能も披露され、今後一層の交流促進を誓いました。



芦矢修司校長、松崎英一教頭、南口周哉先生と一緒に記念写真に納まる川本小学校6年児童

わたしたちが夢見る 21世紀の川本町③

—川本町立川本小学校6年生—

緑がへつて道や店がたくさんできていると思う。だけど暮らしがくなっていると思う。
いろいろな店ができるらしいと思う。
大きなビルが建つより、緑がたくさんある町であつてほしいです。
緑がへつても、川本町の人達がみんな楽しめるような町がいいです。
もっと人口がふえて自然豊かな町になつてほしい。
大久保あゆみがでかくなつたりいろんなせ

つびもそろつたらいいと思います。
岡崎 翔
デパートやコンビニがたくさんある町がいいです。田中 透
なんでもあって物に困らない町になつたらいい。田平 秀樹
今よりも自然豊かな川本町になつてほしい。土井 貴裕
人が住みやすくなるように公共施設や福祉施設がもつとふえていつてほしいです。
福井 若菜
音楽がさかんになつて、緑がたくさん残つてある町がいいと思う。
前本 謙太

いろいろな所に遊び場があるて、子供からお年寄りまで楽しくすぐせる町ならいいと思います。
見附 拓也
もうちょっと科学などに関する施設などを造つてほしい。
三原 和輝
自然がいっぱいあつて、みんなが不便のない生活ができたりリラックスできたりするような町になるといいと思います。
和田帆菜未
今より人がたくさんいて何でもできる町がいいと思う。
和田 守

国際交流コーナー

私は、
こういう風に
川本に辿り着いた

こんにちは。川本町国際交流員のアレックスです。私は、1年半ちょっと前に国際交流員として川本町に来ました。その8カ月前、イギリスでジェット (Japan Exchange and Teaching) プログラムの国際交流員の仕事を申し込んだ時に、面接に合格して、国際交流員の仕事をさせていただいても、仕事の内容はどうなるか、全然分からなかつたものです。ジェットプログラムというのは、地方公共団体(都道府県、政令指定都市及び市町村)等が外国青年を招致する事業であり、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルで国際交流を推進することを目的としています。

来日する参加者は、日本全国の学校で外国語を教えたり、各自治体における国際交流活動に携わることにより、地域の住民と様々な形で交流を深めています。諸外国との相互理解を増進するとともに、日本の国際化の促進に資することが期待されています。多くのジェット参加者はALT (Assistant Language Teacher) の仕事をします。つまり6,000人の中で、およそ5,500人が中・高校で英語を教えています。ALTは大体英語圏の人で、日本語が余り喋れない方が多いです。一方、多くの国際交流員、いわゆるCIR (Coordinator of International Relations) は母国の大学で日本語を専攻し、卒業してからすぐに来日します。40カ国からCIRが日本に来ています。私はその一人です。

自慢の鍋料理で地域交流

第6回料理サミットinかわもと 2/17



地域の特産品を使った鍋料理を作る参加者

「料理サミット」がすこやかセンターであり、広島県三次市や浜田市、江津市など町内外から九ヶループが参加。自慢の料理に腕を振りました。

サミットは、町内の有志や単身赴任者でつくる「お父さんの料理教室」が二年ぶりに企画。一時間半ほどで鴨鍋や、江の川産の干し鮎を使ったすき焼き風鍋などができあがると、参加者は味見や意見交換をしながら親睦を深めました。



料理サミットを企画した「お父さんの料理教室」のメンバー

祝 川本町・坂町 姉妹縁組15周年



記念セレモニーで、坂町に継承される古典音楽・雅楽を披露する坂町「雅正会」

川本町立川本西小学校

この四月から実施される「完全学校週五日制」や、新しい学習指導要領の導入を前に、学校と地域の協力関係がクローズアップされています。転換期を迎える教育現場の取り組みを特集します。

産卵のために濁川を上のサケを守ろう――。

川本西小学校（非々玲子校長・五十一年）では、新学習指導要領の柱である「総合的な学習」を見据え、身近な自然を教材に、体験学習を重視した教育に取り組んでいます。

五年生では『濁川のサケ・Come Back大作戦』を展開。地元住民や西公民館などの協力を得て、サケの生態や川の環境について調べました。

まず、遡上が始まった昨年十一月から、十二月上旬までの毎日、校区内にある濁川でサケの観察を行いました。「寿命はどのくらいか」「なぜ上流で産卵するのだろう」「汚い川でも産卵できるのか」。

さまざまな疑問については、サケの生態に詳しい地元の方を講師に招き、学習会を開きました。

児童たちは「きれいな川に遡上するサケは地域の誇り」と、ふる里の素晴らしさを実感。地域ぐるみで自然環境を守つていこうと、手作りのポスターを公共施設等に貼り出した



地域資源生かし 「総合的な学習」充実



三年生では、社会科で学んだ『昔の人々の暮らし』を実践により深めようと「総合的な学習の時間」を活用。地元老人会の協力を得て、当時の生活の様子を聞いたり、わら細工づくりに挑戦しました。

人生経験豊富なお年寄りから、生活の知恵を直接聞いたり体験する実践的な学習は、高齢者を敬う気持ちの醸成や伝統技術の継承につながりました。参加した高齢者からも

「生活の張りになります」と好評を得ました。

非々校長は、「『総合的な学習の時間』で養う好奇心や探究心、知識は、各教科の学習力の向上にもつながります」と、新学習指導要領への試行期間を振り返ります。

「これからも地域の方々の積極的な協力をいただきながら、子どもたちの創造力や社会性を伸ばしていきたい」と語った。川本西小学校では、ふる里を舞台に、子どもの個性を伸ばす教育づくりを強調しています。



地域と歩む学校シリーズ②

「完全学校週五日制」や
「総合的な学習の時間」を感じ
り込んだ新学習指導要領の実
施を目前に、学校教育のあり
方が問い合わせられています。地
域連携と今後の課題について
聞きました。

実生活に生かすという“生きる力を育む学習”への試行期間として、よい糸口をつかむことができたと思います」
—成果を得るには、何が必要でしょうか。



川木町立川木西小学校

校長 非々玲子さん

地域協力体制が
これまで以上に
必要ですね。

ことにより、双方の

いのか、『助言と評
体化させています』

り、子どもたちの主体性の育成に努めました。『総合的な学習の時間』で培う課題発見力や人とかかわる力は、教科の

――具体的には。

「例えば五年生では、サケの観察を通じて生態や河川環境など、研究の過程で生じる疑問を自分たちで見つけだし、地域の方々とともに考えていました。ふる里を教材に、その中にある課題を共有していくことは、地域の一員として暮らしていることへの実感につながります。自分なりの言葉や行動で考え方を表現し、

力体制だと考えます。幸い西小学校区では、西公民館活動や地元の行事などを通じて、地域の中の子どもたち」という意識が根付いており、教育現場とも円滑に連携を図っています。

「これまで以上に必要ですね。」
「そうです。地域と一体となって、総合的な学習を意義あるものにしていきたいと思います。また、休日の子どもの過ごし方にも、より関心を向けていたくことを願っています」
「教師の力量も試されます研修を重ねて職員同士が切磋琢磨に励んだり、創意工夫して学習指導にあたっていると

「十四年度は、地域のボランティアグループやかわもと図書館の協力を得て、校舎内のオープンスペースに設置している学校図書館運営も充実していく考えです。地域や関係機関と連携を保ちながら、個性ある子どもたちの育成に努めていきたいと思います」

① 子育てサークル・おじゃママキッズ

地域分権の大きなうねりの中で、行政改革と相まって、市町村合併の動きが加速しています。この新しい動きが求めているのは、住民・地域・行政の緊密な連携による役割分担です。特に、住民自身による創意工夫は、今後の地域活性化の力ぎを握っていると言われています。本町における「住民パワー」をシリーズで紹介します。



絵本の読み聞かせ

がつ 合併考

シリーズ
(9)

環境問題にも
取り組む

『子育てサークル・おじゃママキッズ』は、児童教室や音楽会、人形劇などを通じて、保育所や幼稚園に通っている在宅児や、家庭で子育てをする母親たちの交流を図っています。

メンバーは、転勤世帯や核家族の母親を中心に三十人。一人ひとりがアイデアを出しながら、企画や広報、運営にあたっています。

昨年春から、月二、三回開いている児童教室では、料理づくりや絵本の読み聞かせ、異年齢児交流など盛りだくさんの事業を展開。環境をテーマにした町内散策では、道端に落ちているタバコの吸い殻やペットボトル、空き缶などのゴミを拾い集めながら、身近な自然環境を考えました。

参加する二十代、三十代の若いお母さんたちは、定期的に顔をそろえてはおしゃべりを楽しんだり、子育ての悩みを語り合ったりしています。「子どもは親より、同年齢や異年齢の子どもと遊びたい盛り。毎回楽しみにしています」と話しています。

国のモデル事業 指定受ける

本町では二月末現在、0歳児から就学前までの五歳児が二百四十六人(住民基本台帳)。うち、保育所や幼稚園に通っている子どもは百三十一人で、半分近くの子どもが在宅で過ごしていることになり、「子どもや保護者の交流の場づくり」と話しています。



町の主催した料理教室で高校生と交流を図る在宅の親子

母親たちのアイデアで活動の輪、広がる

「住民の『自治意識』の差が まちづくりを左右」

市町村の合併問題は、多様化する地域と住民ニーズに対応する地方分権の中から生まれてきた課題の一つです。そのキーワードは、自己決定と自己責任で、住民のまちづくりに対する問題意識や行政参加が問われています。

これからは、限られた行財政資源の中で、地域の実情を踏まえ、行政の効率的な運営をしていくには、とりわけ『住民自治』の視点が不可欠となっています。

島根県立大学
教授 吉塚 徹さん



住民は、単なる行政サービスの受益者ではなく、自ら生活環境の変化に対応する、柔軟な発想と行動力を持ち、まちづくりの主体者となることが求められています。

「子育てサークル・おじゃママキッズ」の取り組みは、住民主導により急がれる在宅親子の支援に乗りだした、注目される事例です。

平成12年度からスタートした介護保険制度は、住民自治へ踏み出す第一歩でした。自治体の行政能力、住民の自治意識、住民参加の温度差が、すでに各市町村ごとにあらわれています。

特に中山間地のように、面積も広く過疎化や少子高齢化が進んでいる圏域では、環境、教育、子育て、福祉などあらゆる分野において、住民・地域・行政の役割をどのように形づくり、資質を高め、運営していくのか、合併論議を機会に、住民の暮らしに着目したシステムづくりが急がれます。

〈談〉



ホームページづくり

りが求められています。

自分たちのアイデアや工夫

で、在宅親子が気軽に集まる

場をつくりだそう。

同サークルは、本町の呼びかけで始まつた、在宅児を持つ母親の集いの参加者が二年前に組織しました。学校や保育施設などと連携をとり、子どもからお年寄りまで一体となつたこれまでの

活動は、高い評価を得て、平成十三年度、国が推進する住民主体の「ITを活用したネットワークづくり」モデル事業に指定（全国二十団体）。ホームページを開設して取り組んだ情報発信の成果を三月末、東京で開かれる報告会で発表します。

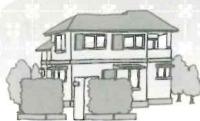
『お母さんたちの頑張る姿に感動しました。私は高校を

卒業して、この春、地元を離れますが、将来きっと帰つて、メンバーに入りたいです

今年一月、ホームページに

は、交流のあつた川本高校生からの心温まるメッセージが寄せられました。

お母さんたちは「これからも、楽しみながら活動を続けていきたい」と話しています。



宅地分譲します

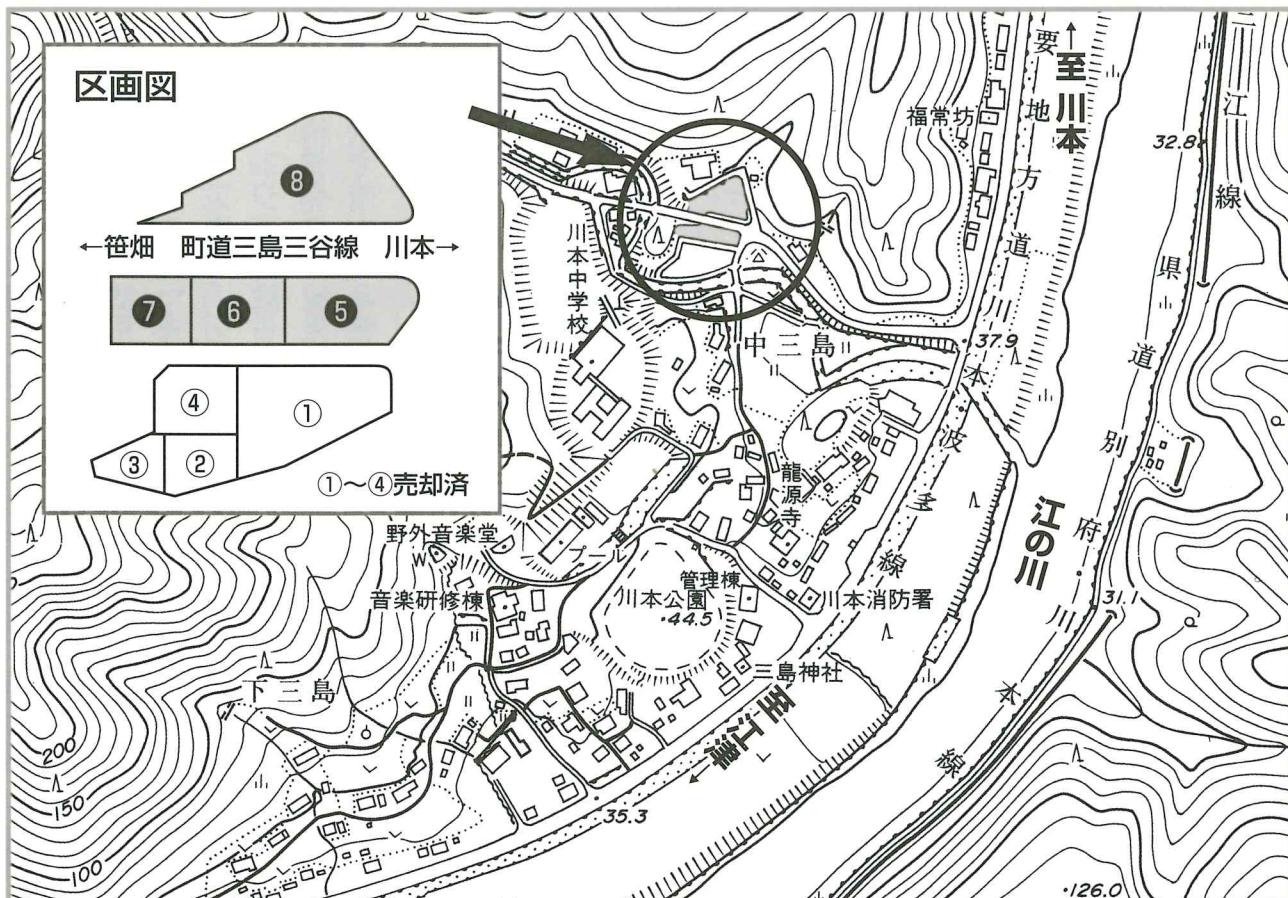


対象物件／三島玉縄団地

- 場 所** 邑智郡川本町大字川下地内
販売区画数 4 区画
交 通 主要地方道「川本波多線」沿い、JR三江線川本駅から徒歩20分
生活関連施設 川本町役場／2.0km、川本中学校／0.5km
購 入 条 件 居住を目的とする家屋を建築すること
分譲区画・面積・価格

区画	面 積(m ²)	分譲価格(円)	区画	面 積(m ²)	分譲価格(円)
⑤	390.10	5,851,500	⑦	347.58	5,213,700
⑥	352.66	5,289,900	⑧	1,650.12	24,751,800

- 受付締切** 平成14年4月15日 ※郵送の場合は当日必着
手続方法 申し込みを希望する場合は、川本町土地開発公社が定める「申込書」に必要事項を記入の上、お申し込みください。
 ※申し込み多数の場合は抽選（区画毎）
問合せ 川本町土地開発公社（役場建設課内）
 〒696-8501 邑智郡川本町大字川本545-1
 ☎ (0855) 72-0637 FAX (0855) 72-0635



町職員給与の状況と職員数

町職員の給与は、国家公務員給与に準じて条例、規則などで定められています。
職員の給与には、基本給のほか、扶養、住居、通勤手当や民間の賞与にあたる期末・勤勉手当などがあります。

1. 人件費の状況（普通会計決算）

単位：千円

区分	住民基本台帳人口 (H13.3.31)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考)H11 人件費率
平成12年度	4,672人	4,866,742	35,183	726,552	14.9%	14.2%

2. 職員給与費の状況（普通会計予算）

単位：千円

区分	職員数 (A)	給 与 費			1人当たり 給与費(B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当 計(B)	
平成13年度	72人	302,013	50,370	128,952	481,335
					6,685

※職員手当には退職手当を含みません。給与費は平成13年12月補正予算後の予算に計上された額です。

3. 一般行政職員の平均給料月額及び

平均年齢の状況(平成13年度給与実態調査)

職員の初任給の状況

(平成13年4月1日現在)

区分	川本町	県内町村
平均給料月額	358,200円	342,400円
平均年齢	44歳02月	40歳08月

区分	川本町	国
大学卒	174,400円	同じ
高校卒	141,900円	同じ

4. 職員手当の状況（平成13年4月1日現在）

区分	期 末・勤 勉 手 当	退 職 手 当
川	〈期末手当〉 6月期 1.45月分 12月期 1.55月分 3月期 0.55月分 計 3.55月分	〈勤勉手当〉 0.6月分 0.55月分 一月分 1.15月分
本	職制上の段階、職務の級等による 加算措置……有	その他の加算措置……定年前早期退職特例措置(2%～20%加算) 退職時特別昇給、島根県市町村職員の退職手当に関する条例の規定(退職手当の算定の基礎)に定める範囲内で行う 定年退職:最高2号までの範囲以内 勤奨退職:最高3号までの範囲以内
町		同 じ
国	同 じ	その他の加算措置……定年前早期退職特例措置(2%～20%加算) 退職時特別昇給 1号

区分	内 容	国の制度 との異同	国の制度と 異なる内容
扶	配偶者	16,000円	
養	扶養親族でない配偶者を有する場合の1人目の子等	6,500円	
手	配偶者以外の扶養親族のうち2人まで	6,000円	
当	配偶者のない職員の場合の扶養親族のうち1人	11,000円	同 じ
	その他の扶養親族	3,000円	
	満16歳年度初めから満22歳年度末までの間にある子1人につき	5,000円	
住	基礎控除額	12,000円	
居	借家・借 間居住者	全額支給限度額 1/2加算限度額	11,000円 16,000円
手		最高支給限度額	27,000円
当	持家居住者	新築・購入から5年間	2,500円
		その他	1,000円
通	交通機関利 用者	全額支給限度額 1/2加算限度額	45,000円 5,000円
勤		最高支給限度額	50,000円
手	自動車等利 用者	片道2km以上	片道1km当たり 1,100円
当		最高支給限度額	40km以上20,900円

5. 特別職の報酬等の状況（平成13年4月1日現在）

	町 長	助 役	収 入 役	議 長	副議長	議 員
給 料	750,000円	637,000円	562,000円			
報 酬				304,000円	252,000円	210,000円
期末手当						
6月期	1.45月分					
12月期	1.55月分					
3月期	0.55月分					
計	3.55月分	0.55月分	3.55月分			

6. ラスパイレス指数の状況

区 分	平成13年度	平成12年度
川 本 町	98.4%	98.7%
県 内 町 村	100.3%	100.9%

ラスパイレス指数：国家公務員の給与水準と比較する場合に用いられているものです。

指数は、国家公務員給与水準を100とした場合の比較です。
100を超える一般的に国家公務員の給与水準より高いと言われているものです。

7. 職員定数と実職員数の状況

区 分	平成13年度	平成12年度
定 数	85人	85人
実 人 数	82人	85人

実 人 数：定数外職員も含んでいます。

定数外職員：条例の規定により、他の普通地方公共団体に派遣し、または他の普通地方公共団体から派遣されている職員は定数外の職員となります。

8. 部門別職員数の状況

部 門	区 分	職 員 数 (人)	
		平成13年度	平成12年度
一般行政部門	議 会	1	1
	総 務	19	20
	税 務	3	3
	農 林 水 産	12	12
	商 工	1	1
	土 木	9	9
福祉関係部門	小 計	45	46
	民 生	7	8
	衛 生	5	5
	小 計	12	13
	特 別 行 政 部 门	教 育	15
普通会計	計	72	75
	水 道	5	6
	下 水	3	3
	そ の 他	2	2
	小 計	10	11
公営企業等 (その他: 国保会計職員)	合 計	82	85

※職員数は一般職に属する職員数で、町職員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

用語の説明

普通会計：国民健康保険・老人保健・簡易水道事業・農業集落排水処理事業の各特別会計を除いた一般会計等をひとつの会計としたものです。

実質収支：歳入総額から歳出総額を差し引いた差額から繰越等翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質的な差額です。

人 件 費：職員給与、共済費のほか議員報酬や各種委員等の報酬も含んでいます。

「地域安全標語」決まる

川本町地域安全推進員連絡会（柿迫政徳代表）が募集した地域安全標語が、応募総数189点の中から次のとおり決定しました。3月中に標語塔を町内に設置します。ご協力ありがとうございました。

川本町地域安全推進員連絡会 ○ひとつの命 一本のタスキで まもられる

川本小5年 下田 恵助
○川本町 きれいな町に きれ
いな心

川本小5年 井下 美里
○非行はね ほんの少しの 心
の乱れ

川本小5年 福島未希穂



川本町監査委員 「監査計画」

平成14年度監査基本方針に基づく監査年間計画を次のとおり公表します。

例月出納検査…歳計現金、歳入

歳出外現金、一時借入金、基金に属する現金等の計数の確認や支払遅延等の有無、支払い根拠となる帳票等の整備状況を確認します。

4/22、5/20、6/20、
7/22、8/20、9/20、
10/21、11/20、12/24、
1/20、2/20、3/20

決算審査…決算書等が法令で定める様式で調製されているか等の形式審査、計数確認、執行状況、違法または不当な支出はないかを審査します。

8/1、2、5、6、7、8

定期監査…9月末現在の執行状況、執行手続きの適切さを監査します。

10/22、23、24、25、28

財務監査…財産管理について主に取得、処分、境界確定等を監査します。

11/21、22

川本町監査委員事務局

川本町一般会計補正予算

平成13年度一般会計補正予算（第3号）は歳入歳出それぞれ67,204千円を減額し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ4,329,017千円となりました。主な内容は次のとおりです。（単位：千円）

歳 入

宅地等水防災害事業分担金▲8,801
県地域ネットワーク構築補助金5,832
減債基金繰入金▲30,000
公共施設維持管理基金繰入金▲21,000
公社造林受託収入▲7,732
地域インターネット導入促進事業債28,498
県道整備負担金事業債▲5,200

歳 出

地域インターネット導入促進事業32,156
水田営農促進事業▲3,227
造林事業▲14,805
多田地区宅地等水防災対策事業▲32,760
音戯館等施設管理委託▲2,105



4月の保健行事

役場健康福祉課 ☎0855-72-0633

4月は風疹の
予防接種月です

3日(木)●リハビリ教室

14:00~16:00
すこやかセンター

4日(木)●断酒会

19:00~21:00
すこやかセンター

16日(火)●乳児相談

13:00~14:00
すこやかセンター

●成人健康相談

14:30~15:00
すこやかセンター

17日(水)●リハビリ教室

10:00~15:00

すこやかセンター

22日(月)●シルバー講座

(老人医療証交付)

13:30~15:00

すこやかセンター

25日(木)●三原地区健康相談

9:30~10:30

朝日ヶ丘会館

10:45~11:30

親和集会所

25日(木)●献血

9:30~10:15

インフォメーションセンターかわもと

10:30~11:45

川本警察署

13:00~14:00

川本町役場

14:30~16:00

川本合同庁舎

交差点情報

川本町役場総務課
〒696-8501
島根県邑智郡川本町大字川本545-1
☎ 0855-72-0631
Fax 0855-72-0635
HP <http://www.kawamoto-town.jp/>
E-mail kawamoto@kawamoto-town.jp

町の人口
男 2,269人 (2,307)
女 2,431人 (2,458)
計 4,700人 (4,765)
うち65歳以上 1,622人 (1,659)
うち15歳未満 518人 (527)
世帯数 2,008戸 (2,032)
平成14年3月1日現在の住民登録による
()は前年同月

参加募集

食生活改善推進員（ヘルスマイト）育成教室

川本町では地域ぐるみでの健康新づくりと食生活改善推進協議会の組織強化を目指し、育成教室を開催します。気軽にご参加ください。

日 程 6月～平成15年2月
(毎月1回、全9回)

会 場 すこやかセンター

参 加 費 テキスト代／1,300円程度、調理実習材料代／1回300円程度

申込締切 5月31日(金)

申 込 先 役場健康福祉課
☎ 0855-72-0633



平成14年4月から保険料の納付方法が変わります

◆平成14年4月分から◆
納付書が社会保険庁から直接送付されます。
保険料を納める場所が変わります。

全国の銀行・郵便局・農協・漁協・信用金庫・信用組合・労働金庫などで納めることができます。
口座振替がより便利になります。

- 全国の金融機関で利用できます。
- 郵便局の貯金口座からの自動払込もできます。
- 前納割引による納付も口座振替が利用できます。
- 家族の口座からの引き落としもできます。

問合せ 役場住民課
☎ 0855-72-0632



高齢者に優しい住まいづくり

昨年4月に制定された「高齢者の居住の安定確保に関する法律」により、高齢者が安心して生活できる住まいづくりが進められています。

○高齢者が自宅のお風呂やトイレに手すりをつけたり、階段や部屋の入口の段差をなくすなどバリアフリー化の改善をする場合、ローンの返済を軽くする住宅金融公庫の特別の融資制度があります。

問合せ 島根県土木部建築住宅課
☎ 0852-22-5222



平成14年度 スポーツ安全保険の加入受付

スポーツ安全保険に加入して万一の事故に備えましょう。
対象 スポーツ、文化、ボランティア、地域等の活動を行う5人以上の団体やグループ

対象となる団体	掛金 (1人年額)	傷害保険	賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
死亡	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)	
子どもの団体 (中学生以下)	450円	2,000万円	3,000万円	1,500円
文化・ボランティア活動団体 (高校生以上)	800円	500万円	750万円	1,800円
老人クラブ団体 (60歳以上)	1,400円	2,000万円	3,000万円	1,500円
成人の スポーツ団体 (高校生以上)	9,000円	500万円	750万円	1,800円
アメリカン フットボール 山岳登山等を行なう団体				1,000円
子どもの団体 (中学生以下)	1,000円	2,100万円	3,150万円	5,000円
		100万円	150万円	2,000円
			1,000円	500円

問合せ 川本町教育委員会 ☎ 0855-72-0594

子ども歳時記



出發
たびだち

島根県立川本高等学校の卒業式があり、3年間の学業を終えた138人の生徒たちが、それぞれの道へ新たなスタートを切りました。

photo : 2002.3.1 同校普通科3年1組

■発行／川本町役場 ■編集／総務課
〒696-8501 島根県邑智郡川本町大字川本545番地
ホームページアドレス <http://www.kawamoto-tv.vn.jp/> Eメールアドレス kawamoto@kawamoto-town.id

編集後記

先月からスタートしたシリーズ『地域じ歩む学校』。取材では毎回、校長先生や担当教諭から、子どもの個性を生かす特色ある教育・学校づくりへの熱い思いを聞かせていただいていま

す。各学校とも回りながら強調されるることは教師の日々の研究や、学校の裁量、情報の開示、地域連携、住民一人ひとりの“我が町の教育”への情熱や関心。教育現場には、分権時代に欠かせない姿勢がギュッと凝縮されているような気がします。(K)



す。名学校とも回りながら強調されるることは教師の日々の研究や、学校の裁量、情報の開示、地域連携、住民一人ひとりの“我が町の教育”への情熱や関心。教育現場には、分権時代に欠かせない姿勢がギュッと凝縮されているような気がします。

川本に帰つてから、もう二十年近くになりました。帰つてしまふらしくして、学生の時に吹奏楽部で打楽器を担当していたこともあり、先輩に誘われてバンド活動になりました。十年くらい続いたでしょうか。しかし、メン

バーの確保が難しくなつてバンドの解散を余儀なくされました。それからはいろいろな団体の中の役割を一生懸命こなってきて、音楽からは遠ざかっていました。

今回、この企画であらためて今自分は趣味を持つてないなあと感じました。昨年、川本で開催されたミニジカルで結成された楽団が継続して活動させていたり、小編成のバンドもいくつか結成されているようなので、機会があればまた音楽にどっぷり漬かった時間をもてればいいと思います。

私の趣味 「音楽と私」

23

河 部 修 治
(川本町中新町)

リレーエッセイ